

令和4年度 第4回 焼津市地域公共交通会議 会議録	開催	日時 令和5年3月22日(水) 午前10時～10時50分	場所 焼津市役所7階会議室7A
報告事項	大井川地区の再編後の公共交通利用状況について		
協議事項	焼津市地域公共交通網形成計画の計画期間延長について		
出席委員 13名	(公共交通会議) 会長 福與 直己 (焼津市) 委員 藁科 孝佳 (しずてつジャストライン(株)) 委員 岸 哲矢 ((株)アンビ・ア) 委員 堀内 哲郎 ((一社)静岡県バス協会) 委員 小泉 明裕 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 委員 原田 光一郎 (中部運輸局静岡運輸支局) 委員 山田 裕一 (ジャストライン労働組合) 委員(代理) 長田 清孝 (静岡県交通基盤部) 委員 財津 博幸 (静岡県島田土木事務所) 委員(代理) 岩見 貴雄 (静岡県焼津警察署) 委員 谷澤 優 (焼津市自治会連合会) 委員 遠藤 耕輔 (さわやかクラブやいづ連合会) 委員 神谷 剛史 (焼津市社会福祉協議会) 委員 渡辺 央 (静岡福祉大学)		
欠席委員	焼津市民生委員児童委員協議会 増田 嘉昭 委員		
オブザーバー	焼津市建設部長 久保山 巖夫		
傍聴者	なし		
議事内容			
会議の成立	委員総数15名の内14名が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
報告事項	大井川地区の再編後の公共交通利用状況について *説明(事務局) 資料3:「令和4年度 第4回 焼津市地域公共交通会議【説明資料】」P2～12 ・令和4年4月に大井川西部循環線に代わり導入した「大井川地区デマンド型乗合タクシー」の登録や利用状況について報告した。また、大井川地区の路線バス(焼津大島線)や自主運行バス、デマンドタクシーの利用状況を報告した。 【質問・説明等】 ○小泉委員:朝出掛けて、午前中に帰宅する方が多いため、1便～3便の利用が多くなっている。 また、利用者の意見としてデマンドタクシーに免許返納者の割引があると良いとの声があった。 飯淵地区では、デマンドタクシーを利用し、大井川庁舎経由で焼津方面への移動が可能であることの周知が進んだため、利用が増えている。		

	<p>○遠藤委員：31か所の停留所が利用されていない要因は何か？ ⇒事務局：利用が無い停留所の多くは、大井川焼津線の停留所であり、大井川焼津線を利用すれば、市立病院や焼津駅へ移動できることが、要因であると考えられる。なお、利用が無い停留所については、経由しないため、運行に支障はない。</p> <p>○神谷委員：大井川地区デマンド型乗合タクシーは、どのような経緯や理由で登録しているか？</p> <p>○小泉委員：登録受付の際、確認できる範囲で聞き取りを行うようにする。</p>
協議事項	<p>焼津市地域公共交通網形成計画の計画期間延長について</p> <p>*説明(事務局) 資料3：「令和4年度第4回焼津市地域公共交通会議【説明資料】」P13～17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市地域公共交通網形成計画の計画期間が令和4年度末で終了するが、大井川地区の再編が継続していることや立地適正化計画との連携などの理由から、1年間延長する。 <p>【質問・説明等】</p> <p>○原田委員：地域公共交通計画は、公共交通のマスタープランに位置付けられるものであるため、地域で議論を行ったうえで作りあげてほしい。 また、フィーダー系統の国庫補助金の交付を受けるため、計画の中で位置づけが必要となった。</p> <p>○遠藤委員：瀬戸川の南側や中央高校付近はバス路線が無い地区であるが、デマンド交通の計画はあるか？ ⇒事務局：焼津IC周辺地域では、地域協議会が立ち上がり、1年以上の準備期間を経て、試験運行を開始した。今後、新たなデマンド交通の検討には、地域から要望や協力が必要となる。</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成総意～ 事務局の提案通り実施する。</p>
その他	事務局から、今年度実施したバス利用促進策(地域再発見の旅)の実施状況及び来年度、実施予定のモビリティ事業について、概要を説明した。
閉会	<p>予定していた議事が終了。</p> <p>令和5年度第1回焼津市地域公共交通会議は、開催日未定。</p>